

“けてぶれ学習法”×持続可能な家庭学習の仕組みづくり ～自立した学習者を育むために～/津市立芸濃中学校

学校・講師紹介

今回のセミナーでは、津市立芸濃中学校の山下氏より「“けてぶれ学習法”×持続可能な家庭学習の仕組みづくり～自立した学習者を育むために～」をテーマに取り組みをご紹介いただきました。



津市立芸濃中学校 紹介

◆ 津市立芸濃中学校

全校生徒が200人で1年生2クラス、2年生3クラス、3年生が2クラスの小規模校です。田んぼに囲まれた、山が近い自然豊かな学校です。



講師：山下 海人氏

3年目教員、担当教科は社会。初任でコロナ禍のオンライン授業を経験し、子どもたちの学習の仕方に疑問を持つ。“けてぶれ学習法”に出会い、けてぶれを実践している全国の先生や、けてぶれ提唱者の葛原 祥太氏とともに、学びを深めている。

芸濃中学校での持続可能な家庭学習の取り組みとは？

■ 芸濃中学校での家庭学習の取り組み

家でiプリを使って問題を解き、iプリチェックで確認するというひな形で家庭学習の取り組みをしています。月曜日は国語、火曜日は社会のように、教科から日割りで宿題を出しています。範囲は先生から指定のプリントを書いた表（右図）を生徒に配ります。難易度は自分でどれを選んでもよいとしています。

	10月31日(月)	11月1日(火)	11月2日(水)	11月3日(木)	11月4日(金)
教科	国語	社会	数学	理科	英語
授業内容	漢字ノート20	中学社会→帝國書院→地理→7-3-3日本の諸地域→10年級地方→11(17/50等)(※難易度は自分で選びます。iプリ(標準・定章など)シールをもらっている人は自由です。	期末テスト向け「図形」についてワーク92～99の中からカの付いたところの「けてぶれ」練習はiプリで行い、iプリチェックも必ず行うこと	今週と来週(11/3)と2回かけて宿題プリント3枚や、Oの付いたもの。	ジョイフルワークの972と974と976 テスト向け「けてぶれ」のノートにする。ワークに添削書いた人はワークをノートにはさむ。 「れ」は17/31,17/32も使ってみよう。
提出日	週末の国語の授業日	11月2日(水)朝	11月7日(月)夕	11月7日(月)の放課後まで	11月8日(月)夕
提出方法	漢字テストと同時に提出	朝の会で回収	職員室前提出へ	11月7日(月)の放課後に、理科係が集めてファイルにまとめて職員室前提出	朝の会で英語係に提出⇒職員室前提出へ

山下氏の家庭学習の工夫

全員一律で同じ課題だとできる生徒にとっては苦痛となることもあります。そこで1ヶ月間、毎週提出できた生徒にはシールを渡して、次の1ヶ月は自分で4回課題を決めて学習し、月末に4回分提出すれば、クリアとしています。先生の毎週のチェックを卒業していくことを目指しています。

■ 先生同士の共通認識は？

「みんなの学習クラブを使って家庭学習を支援していくこと」「家庭学習の時間を確保するためにみんなの学習クラブを使って勉強しよう」と生徒へ呼びかけること」が共通認識になっています。最初は、みんなの学習クラブの認知もあまりされておらず、職員会議で使い方を聞いて、全体で運用イメージを共有しました。

■ みんなの学習クラブを活用してよかったこと

圧倒的な問題量がまずいいし、取り組みやすいです。発展的、入試問題など、バリエーションが豊富なのも良いと思います。2年生で家庭学習でiプリを活用してきて、使い方が分かっているからこそ、3年生になっても1年生や2年生の復習を実力テスト前や入試前に自分で取り組む生徒が増えていきました。生徒が触れておくことが一番かなと思います。

他の先生方の活用（授業）

授業で課題をする際、個人差が生じる。早くできた生徒が設定時間が終了するまでの自習課題として、活用している。

国語：鉛筆で整った字を正しく書けることが1つの目標なので、あえてプリントアウトしたものを渡し取り組ませている。

英語：授業では文法を学習した後、iプリチェックで練習するという活動に使用

活用してよかったことや変化

- ・継続的に学習する生徒が増えた
- ・短い時間でも机に向かい、学習をする生徒が増えた
- ・学習に対する意欲が少し向上した
- ・学力の定着度に応じた内容が選択できる
- ・具体的に授業内容を復習できる

芸濃中学校の宿題遍歴と“けてぶれ学習法”

■ 2019年～2022年の芸濃中学校の宿題遍歴

2019年

- ・家庭学習は具体的な提示
「新聞を読もう」「ニュースを関心に持とう」など
- ・学習力はあるのか？
学習時間は増えることなく、データとしての成果はない

2020年（山下氏初任）

- ・コロナによる一斉休校
最初の2ヶ月間はプリントの山を家に届ける。
- ・家庭学習は2019と同じ
「新聞を読もう」「ワークを繰り返しておこう」など

2021年（タブレット導入）

- ・家庭学習の時間が少ないのが課題
- ・持続可能な家庭学習を模索
みんなの学習クラブでの学習をスタート。形は決まったがどちらかというやらされる宿題であることは否めない状況

2022年（けてぶれを全学年でスタート）

担当する2年生を中心にけてぶれ学習を進めています。持続可能な家庭学習をキーワードに、型だけ教えて、自分で計画・テスト・分析・練習をするという自立した学習者になることを目指して取り組みました。成果としては、2年生の生徒アンケートで「家で計画を立てて学習していますか」に「全くしていない」が、昨年度比で半分近くまで減少しました。「こういう形で勉強するのいいよ」と型を提示して、語りかけられたのは大きいかなと思いました。「しばしばしている」割合も5割を超えて、3学年の中で2年生が一番多く、意識として変わってきたのかなと思います。

■ “けてぶれ学習法”と学習のコツとは？

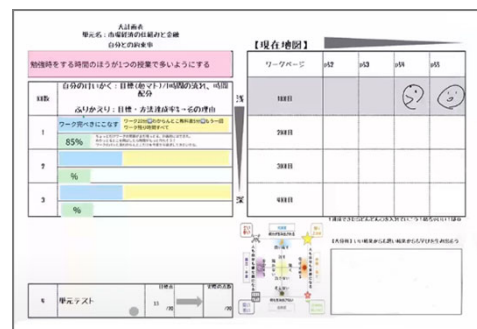
計画・テスト・分析・練習をワンサイクルに勉強していく頭文字を取ったものが“けてぶれ学習法”です。**計画**は思っていることをそのまま書きます。格好つけて「このページをやります」「集中してやります」ではなくて、本当に思ったことを書きます。「本当は勉強やりたくないけど、仕方なくやります」も立派な計画です。**テスト**は定期試験や単元テストではなく、自分のできるところとできないところを見つけるための「自分テスト」です。丸付けして、「どうして間違えたんだろうか」と**分析**をします。**練習**では、最も自分の力になる、定着する方法で勉強していきます。例えば「この問題はできたけど、問題のパターンが変わったら、解けないかもしれない」となれば、「iブリの標準問題を解く」「定着・発展を解く」を練習で行います。ある程度型はありますが、自分のやりたい練習ができ、練習の自由度が高いのがメリットだと思います。

「けてぶれ」
計画→テスト→分析→練習
生き方をミガク

授業でのけてぶれ学習とは？

授業の中でも計画して1時間どうだったかを分析して、次の時間どうするかというけてぶれのようなサイクルを回しています。自由進度学習や『学び合い』を取り入れ、単元のゴールはありますが、そのゴールに向かってどうやって登山するのかは自由です。単元テストを設け、点数で知識・技能を確認すると、パフォーマンス課題を設け、班で協同学習のようにチーム学習で、授業を進めています。

「ワークを完璧にこなしたいです」「ワークを20分間解く」「何分これをやる」など、計画を積み重ねていくことで、「自分ってどう勉強しているのだろうか」と自分理解につながるように練習しています。最後の5分間で計画通りに1時間進んだか、達成度と理由を書いて、けてぶれサイクルを意識しています。1時間でここまでいかないといけないというのはありません。早くできる生徒だと2時間あったら全部学習できるので、ワークを4周することもできます。一方で1回やるのも苦しい子もいます。生徒自身で自分を理解して自分のペースで学習してもらいたいと思っています。



“けてぶれ学習法”はあり方をミガク

■ けてぶれで先生も変わる、あり方を変える

けてぶれによって生徒が変わるんじゃなくて、自分の教育観や自分自身が変わりました。先生が変わって、生徒が主人公になるように任せます。生徒に「あなたたちの人生は、あなたたちのものだよ」という語りができる先生の変化がまず必要かなと思いました。けてぶれの理論があると、こういう姿になりたい子ども像が見えてきます。けてぶれサイクルを回し、自分でトライアンドエラーを繰り返し、あり方を磨いていくといいかなと思いました。

■ けてぶれで生き方をミガク

けてぶれでサイクルを回すのは「生き方をミガク」ことだと思います。勉強以外のあらゆる校内の活動で「このゴールに向かって、現状こうだから、こうやっていこう」と決まっているのと同じ流れを勉強に持ってきただけです。勉強でもけてぶれをぐるぐる回すことで、実際に自分に困難なことが訪れた時に「勉強と一緒に」「人生、けてぶれだよ」と生き方をミガクことにも繋がっていくかなと思います。「ミガク」には2つの意味があります。「研く」は「刀が尖って、刀の切れ味がいい」、「磨く」は「深みを出していく」「艶やかである」イメージかなと思います。アンテナはどんどん高くして、深みを出すことが必要だと思います。けてぶれを回すことによって、「自分ってこうやってやれば得意なんだ」と自分理解を深めていく意味で、この2つの「ミガク」が大事かなと思います。

研く・磨く

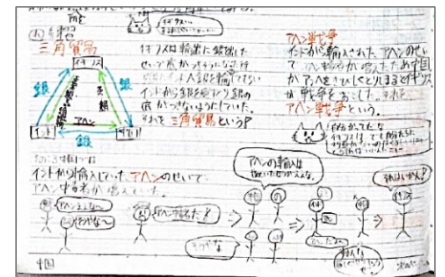
■ けてぶれ学習のスタートは？

けてぶれは勉強の為だけではなく「あなたが主人公だよ」とずっと語りかけることによって浸透させていくのが最初の1ヶ月です。生徒に人生の話をしてもらってもいいですが、意外と芯を食らうし、大事なことで言い続けます。1年間で一回つかんだ波を離さないように回していく為に、少し雑になった時には、「今こういう状態だけど、人生を磨くあり方とどうなのかな」と話をしたりします。

生徒のノートの変化

■ ノートを見るポイントは？

まずはけてぶれが書けて、しっかりサイクルを回すことができているかが、始めて2,3ヶ月のノート評価です。シンキングツールのように、図や絵を入れていくのが、概念としての知識を得ていく上では大事だと思います。ただ穴埋め問題を覚えたり、記述問題に答えるためにやるのではなく、自分の頭の中の整理としてノートで学習し始める生徒が出てくるので、そのノートを大げさに褒めて、けてぶれ通信を配るのが大事です。

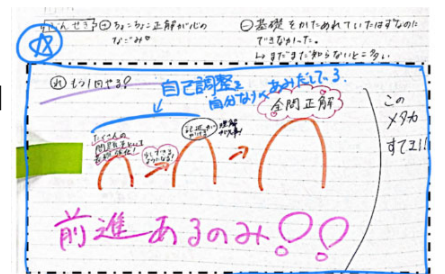


■ 学びに向かう力、主体性をもって学習していることがわかるノート

計画に「スマートフォンはけてぶれをする間は我慢する」と書いても「練習の手前の、分析の途中でLINEの通知が来て触りました。すいません。」と書いているときもあります。他にも「推しの写真に負けない」「誕生日プレゼントでもらったヨギボーに行かない」とかもあって、宿題の計画というより自分自身の計画で学びに向かう力、主体性を持っているなと僕は思います。ただの宿題ではできないし、けてぶれだからこそ出てくる言葉だと思うのですごく面白いです。定期テスト後のけてぶれノートを見るのは楽しみです。

■ ノートで学習力がついていることを実感

「たくさん問題を解き、基礎強化して記述が書けるから全問正解になる」と生徒が書いていました。ワークや問題をただ解いているだけではこんな学習力はないと思います。ここが一番の変容で、この生徒の理解としても「前に進んでいけば、きっと全問正解になるだろう」とねばり強さを身に付けていけるのも、けてぶれで学習する良さだと思います。



“けてぶれ学習法”を実践する上で大切なポイント

■ “けてぶれ学習法”がうまくいっている状態は？

2020年にけてぶれを始めた学年では、けてぶれがうまく浸透しました。けてぶれ熱や勉強が楽しいという熱が目に見えて上がっていき感じでした。うまくいっているときは頑張っている感じが全員にあって、結果を出すためにけてぶれサイクルをたくさん回しています。「俺はこうやって分析やっている」「私練習をこうやってるよ」と、宿題は個人でやるものではありませんが、個人の学習が全体で学んでいる不思議な感覚になります。



■ 学習が苦手な子へのアプローチは？

「こうやって計画を立てよう」とはあまり言わず、「今何思ってる？」と聞きます。最初の頃は授業の中でけてぶれをする時間をたくさん取るので「今こう思ってます」と生徒が言えば、「それをノートに書くだよ」とその生徒の中にある言葉を拾って書いていく、外化させていくことを意識しています。他の生徒のノートをまとめた、けてぶれ通信を配って「こういう計画を立てると、有意義に深く勉強できるよ」「嫌々勉強していないでしょ。勉強楽しんでるでしょ」ということをひたすら刷り込んでいく感じです。

■ 保護者の理解は？

保護者に働きかけるのはすごく難しいです。生徒には「こうだよ」と伝えればいいですが、保護者からは「提出したら点数に入るだろう」「自分で勉強できるわけない」という意見もあります。保護者にも学級通信や懇談で“けてぶれ学習法”のねらいを伝えて、理解をいただいています。保護者へどう伝えるかも大事だと思いました。賛否両論あり、全員の保護者が喜んでくれるというわけではないですが、理解していただいているご家庭もあります。

■ 生徒の変化は？

20,30点だった子が点数を取る方法がわかり、50点,60点を取るなど、平均の近くになったのが、まず第1変化です。あとは90点,100点を狙う子たちの中にも、ただただテストのためだけでなく、「自分の学び方はこうやるといい」「鼻歌を歌いながらやります」などアクティブな学びが増えてきたのが変化です。

“けてぶれ学習法”を実践してよかったことと課題

実践してみてよかったことは、僕自身が楽しくなり、自分が変わったことと、生徒が「楽しい！」「けてぶれで点数が上がったよ」と言ってくれたことです。みんな同じ形で勉強するので、みんな同じiPhoneを使ってるイメージで、使い方の説明がずっと入ります。生徒とは、「ここの[ぶ]がいい」「ここの[れ]がいい」という繋がりができるし、教員間でも、「ここの[ぶ]ってどうやってやるんですか」とOJTもしやすくなります。

課題点は、けてぶれがあまり楽しくない子もいるので、こちらの働きかけ次第かなと思っています。また、マンネリしてきた時にどう手を打つかがまだまだ甘かったので、もっと人生について熱く語る時間を取るのか、通信をたくさん配布するなど、そういうアプローチをしていきたいなと思っています。

“けてぶれ学習法”をきっかけに自立した学びを引き出す取り組みをご紹介いただきました。ありがとうございました。アーカイブ動画 (https://youtu.be/2_KAKAJpB8) もぜひご覧ください。 →→→



株式会社日本コスモトピア 公教育課

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28 TAIYOセンタービル

T E L : 06-6390-2100 (受付時間：平日9:00~17:00)

MAIL : gaku_mail@cosmotopia.co.jp



FOLLOW US
@gakukuracj

